

平成26年度第5回普賢寺小学校コミュニティ・スクール推進委員会 会議録

1 開会

2 公開に係る説明

【事務局から説明】

3 議事

(1) 学校運営協議会会則の検討

【事務局から説明】

【主な意見等】

委員 充て職として就任する委員の役職が変更となった場合の取扱いは。

事務局 1年で委員が交代することは望ましくないという意見があったので、任期は2年としている。

委員 臨機応変に対応すれば良い。

委員 公募委員の位置付けは。

事務局 参加意識を持つ方を積極的に募るという意見を受けたもの。ただ、対象範囲については十分検討する必要がある。

委員 公募委員を加えるのであれば、委員数を増やすべきでは。

事務局 委員数は公募委員を含めて15名以内としている。本推進委員会の人数より多くなると議論がまとまらないという意見もあった。

委員 今ぐらいの人数でないと集まるのも難しくなる。

委員 学校運営協議会の委員は教育委員会が決めるのか。それとも本推進委員会で決めるのか。

事務局 委員は教育委員会が任命する形になる。

委員 会則は絶対に変えられないというものではない。一旦スタートして、不都合があれば変えていけば良い。

事務局 今後制定する予定の教育委員会規則との関係で、会則の内容が変わる場合もある。

(2) 学校運営協議会の設置に関する啓発活動の検討

【3つのグループに分かれて討議】

【各グループの討議内容の発表】

- コミュニティ・スクールがどういうものか知ってもらうために、イベント時に周知。11月29日の「雲上大遠足」で説明するとともに、学校運営協議会の愛称を募集する。
- コミュニティ・スクールのクリアファイルを作成し、リーフレットを入れるようにすればどうか。
- 目を引くようなリーフレットを作成し、各戸に配布する。
- 2月後半から3月初めに各地域と学校で説明会を開催する。
- 普賢寺6地区とPTAで説明会を開催する。
- 保護者にはPTA総会で説明し、その他は学校だよりやコミュニティだより、リーフレットで周知する。
- 学校運営協議会の愛称を広報紙、学校、リーフレットで募集する。
- 愛称だけでなくマスコットも募集し、採用者にはプレゼント。
- リーフレットで愛称募集などをする中で公募委員も見つかるのではないか。
- 全市民を対象に公募委員を募集する。
- 来年2月の「竹送り」や3月の「じゃがいも祭り」でカラーの見やすいリーフレットを配布し、公募委員を募集する。
- 徐々に広めていくようなイメージで啓発を。
- 学校だよりで次回推進委員会の開催案内をして、傍聴者も募ると良い。

まとめ

- 啓発活動について色々な意見が出たが、アプローチは共通している。
- マイナス思考からプラス思考に。児童数の減少や駅から離れているといった条件もプラスに変えることができる。
- 課題があるから、コミュニティ・スクール推進委員会という皆で考える場が出来て、取り組みが進んでいる。
- ここにしかない宝物が考えられれば注目されるし、考える題材があり大人が楽しむことができれば、子どもも楽しめるのではないか。

(3) その他

【事務局から次回の開催日程等を連絡】